

懇談会開催日：令和6年7月24日(水)

地区：大湊

要望・意見内容	市長回答
高齢化が進んでおり、これまで地域で出来ていたことも出来なくなっている。側溝や水路の清掃など、考えてほしい。	全市的、全国的な課題であるが、何らかの形でサポートできるよう考えていきたい。
災害時に安全な大湊町とするためには、大湊川を埋め立て、山を作ってそこへ食料の備蓄倉庫などを作るのが良策と思っている。	財源の課題は別として、河川の流れなどの影響や他の地域の方々のご理解などが必要となる。参考とさせていただきたい。
大湊地区の津波避難場所へ段ボールベッドを備蓄する計画はあるか。	市内段ボールメーカーと協定を結んでおり、災害時には迅速に調達できるよう備えている。防災センター等にも一定程度備蓄している。
耐震シェルター等設置の補助は事前に耐震診断を受ける必要があるのか。町内でもPRしても良いか。	まずは耐震診断を受けてもらう必要がある。ぜひ町内でのPRをお願いしたい。
伊勢市では短詩型文学祭として市内小中学生を対象に短歌や俳句を募集しているが、川柳も入れてはどうか。	ご意見として参考にさせていただきたい。
令和6年度から带状疱疹予防接種の一部助成を実施するとのことだが、新型コロナウイルスワクチンの接種費用への助成は考えていないか。	新型コロナウイルス感染症の予防接種は、毎年度秋冬に1回、65歳以上の高齢者の方や60歳～64歳の方で一定の基礎疾患をお持ちの方を対象に定期接種として行われる予定。
堤防の工事のことなど国や県の責任、範疇がわかりにくい。市が全体をまとめて考えてほしい。	国県などの役割分担はわかりにくいところはあると思うが、工事の前倒しなど国も積極的に対応いただいている。市としても窓口となっていく。
大湊地区コミュニティセンターの図書館分室について、日曜日の利用者は少ないが、開館の必要性があるのか。	地元と協議していきたい。
令和6年度の当初予算で中学校の長寿命化事業として17,000千円が計上されているが、それだけの額で足りるのか。	(市からの回答) 令和6年度の予算は、厚生中学校体育館の改修工事の設計費用のみである。今後も、計画的に改修等を行っていく。
人口減少によりお木曳行事に参加する人が少なくなっている。	(意見として聞き置き)
大湊町高齢者通所センター「いこい」を長年運営しているが、85歳を過ぎると通所するのが大変で、特に雨の日は困る。送迎に関して何か良い手立てを考えてほしい。	高齢化による移動手段の確保は重要な課題だと考えている。過去には、高齢者の移動手段の確保のための新たなモビリティを導入する国の補助事業を検討した経過もあるため、当時の資料を確認したい。

要望・意見内容	市長回答
空家対策については、解体費用の課題が大きく、他市では所有者と利用者をマッチングする取り組みなどの事例もある。伊勢市としての空家対策の現在の取り組みと今後の展望は。	木造住宅の空家解体補助制度、空家バンク制度及び移住者世帯対象のリフォームに対する補助制度がある。今後は、趣味の拠点として空家を活用する二拠点生活のニーズなども考えていきたい。
大湊地区コミュニティセンターの前の道路を通行する車両は結構スピードを出して通行しており、コミセンから出てくる車両とぶつかりそうになっている。安全対策はできないか。	検討させていただきたい。
鷺ヶ浜海岸は浜崖、海岸の浸食が進んでいる。これまでも要望しており難しいと聞いているが、大湊町としても鷺ヶ浜を大事にしているため、考えていただけるとありがたい。	県へしっかりと要望していきたい。